



～子どもが本と出会い、読書を楽しむまちふじ～

§ ブックスタートとは？ §

「ブックスタート」とは、赤ちゃんとその保護者に絵本を手渡し、絵本を介して心ふれあう楽しいひとときを分かち合う機会を持っていただく活動です。

「ブックスタート」は、1992年にイギリスのバーミンガムで始まり、日本では2000年の「こども読書年」をきっかけに紹介されました。2001年4月から本格的な活動が始まり、その後全国各地に広がりました。

富士市では、2003年（平成15年）7月から「ブックスタートふじ」の名称で事業を実施しています。

§ ブックスタートの目的は？ §

「ブックスタートふじ」では、「子どもたちの心の健やかな成長を願い、乳児期より絵本を媒体として親子のコミュニケーションを豊かにし、子どもと保護者のこころの健康づくりと地域における子育て支援が図られること」を目的としています。

富士市では、子どもと本の出会いをつくり、読書の楽しさ・大切さを伝え、みんなで読書を楽しむまちづくりを進めるため「第二次富士市子ども読書活動推進計画」を策定しました。子どもが本に出会い保護者と本を通じて触れあう機会をつくるためにすべての赤ちゃんを対象に「ブックスタートふじ」を実施しています。

§ 「ブックスタートふじ」について §

「ブックスタートふじ」は、フィランセを会場に毎週火曜日に開催されている6か月健康診査（すくすく赤ちゃん講座）において、すべての6か月児と保護者を対象に行います。

「ブックスタートふじ」では、絵本2冊とイラストアドバイス集、おすすめ絵本リスト、「乳幼児ふれあいおはなし会」のご案内などが入った『ブックスタートパック』をお渡ししています。

また、地域での子育て支援の一環としてボランティアの皆さんがまちづくりセンターを会場に「乳幼児ふれあいおはなし会」を開催しています。

ブックスタートパック見本



§ 『乳幼児ふれあいおはなし会』とは？ §

「ブックスタートふじ」では、絵本のプレゼントとあわせ、地域のまちづくりセンターや児童館を会場に、お子さんと保護者を対象にした「乳幼児ふれあいおはなし会」を開催しています。どちらのまちづくりセンターでもどなたでも参加できます。事前の申し込みは必要ありません。

「おはなし会」では、手あそびやわらべ歌、絵本の読み聞かせや紹介、また、同じくらいのお子さんを連れての方が集まりますので、お話をしたりして子育ての息抜きにもなると思います。こちらもお出かけになってみてください。

ご案内は、お配りするパックの中に入っています。まちづくりセンターの配布チラシでもご確認ください。



§ 絵本を読む時に心掛けていただきたいこと §

子どもは本を読むことで、言葉を覚えたり、考えたり、判断したり、表現したりする力を高めていきます。本との出会いは、新しい発見や未知なる体験の連続で、読む人の心を豊かにし、生きる力をはぐくんでくれます。

絵本を読むときには次の4つの点を心がけてください。

① 「赤ちゃんが好きな本は、繰り返し読んであげてください。」

ただし、無理をせず機嫌のよいときに、ゆったりとした気分で読んであげましょう。

② 「絵本を読む喜びを分かち合ってください。」

赤ちゃんと一緒に幸せな時間を過ごしましょう。赤ちゃんは身近な大人からの優しい笑顔と温かい呼びかけに、身体中で喜びを表します。

③ 「絵本もおもちゃのひとつです。」

赤ちゃんにとっては、絵本もほかのおもちゃも同じです。遊びと同じように読み聞かせを始めましょう。

④ 「早期教育ではありません。」

読み聞かせは、赤ちゃんの心を育てるためのものです。保護者にプレッシャーを与えたり、赤ちゃんに負担をかけたりするものではありません。